

呼んで、子供が親をウマといふ實例もある。馬鹿野郎、畜生、餓鬼などは下等社會によく聞くところであるが、これが子供の手本となつてはたまらぬではないか。どんな暮しをして居ても立派な言語を遣つて差向がない、立派な紳士令嬢でも野卑な言語を使ふのは邊で見よくないものである。

書に親むの習慣

(村山 文子)

流石に喧しき車の轍の音も聞えずなつた夜は早や一時半、二時に近い、これまで机に對つて居た妻は何を爲たらう、物の本など机上に開かれてあるけれど、夫は遂に讀まなかつた、今夜書ねばならぬものも遂に一行も出来なかつた、开して此深更まで……實は唯黙然として座つて居たのである、何うかして書に親むの習慣を作りたいと思ふけれど、幾歲かの間潔々として身も心も定まらなかつた妻の餘りに永く書に遠つて居たので、今急に改めやうとしても仲々に骨が折れる、寂然として獨り座して居ればありし昔の事共思ひ出られて胸苦しく、幸に書を繕くとしても僅に一時二時にして心疲れ氣倦んで了う、思々としていけれど仕方がない、只之から心掛て新しい習慣を作て行く外はないのです、けれど今妾は手藝に専らなる所の女學生方の中には亦書に遠からんとして居る御方が幾人かありはしないかと思はれて急に注意たいと思ひかするのです。

教育上の所感

女高師 教授 藤 井 利 譽

元來未熟なる上長らく田舎に居りし爲め都會の事物教育の事に就いては何等の知識がない然るに此會で何か話せよとの事につき實はお断りしたいのであるが私の話が皆様の利益にはならんでもお近づきになるの機を得たのであるからお話する事にした次第である。  
田舎者が俄に東京に出て何もわからず轉任早く平素の業務も多忙であるから何か感じた事があつてもとりまとめる時間も少く何らの秩序も利益もない話である  
フレージャー會はかねて聞き及んで居たが如何なる會か實際の有様も知らず又幼稚園といふことについて専心に研究した事もないからそれ等に關してのお話はその事が出来なから地方にての觀察上京後の所感など別に演題も設けずひきまとめて述べて見やう、

地方といつても極小範圍の事で廣く見たのではな  
いから地方の有様を充分にいふ事は出来ないが田  
舎の最低の程度の教育の状況に就いては多少述べ  
る事も出来やう、地方教育は日本の……  
教育の大勢から見ると都會よりも後れて居る事は  
確で其効果に於ても極めて微弱であるその効果を  
壯丁検査の時に調査して見ると地方は甚わるい。  
これは學校の教育の方法がわるかつたのか退學後  
の家庭や社會の悪影響の爲めかかそらくは後者に  
屬する事であらう、

その原因は那邊にあるかはとにかく地方の教育の  
不振は壯丁検査の時に郡視が出張してしらべた處  
でも明かであるこれが救済策としては補習教育を  
施す必要を稱へるものがあるけれども結局どのや  
うな方法を講じたとしてその原因を除かないうちは  
地方教育の効果はあがらないのである  
目下の日本の教育は歐米にもおとらず學說も實際  
も進んで居るのに何故に地方の教育がかゝる状況  
のもとにあるかを我々は心配して居るのであるそ  
れは地方の教師或は教育の當局者が東京より熱心

の度もひく、教育に對する見識も後れて居るから  
である、  
しかし私どもの見た處では教師も監督者も随分勤  
めて居るので實に眞面目なものである朝は早くよ  
り夜は火燈す頃に歸るといふ事は一週中一日二日  
ではないはとんど連日の事である

かくの如く熱心に働いて居るのに地方の教育の効  
果のあがらないのはただに文字技能の上ばかりで  
なく道徳的品性の點に至つても全く零になつて居  
るのではないかと思はれるまでになつて居るのは  
如何なるわけであらうか、

その原因の全體はいはないがその一つを擧げて見  
れば地方の教育者はあまりに學說に従順で反抗心  
がなく見識が低すぎるのである

爲めに教育の方法は主として東京に於ける諸大家  
の學說や實驗の結果が新聞雜誌などに現はれるの  
を見て直に盲従するのである地方の校長などの中  
には意見あるものがあるが輿論は新しい説を迎へ  
て校長の意見などを陳腐として取らない傾向があ  
るのであるこれは地方の人が進取の氣に富のであ

るともいはれるが私はさうは思はない、流行しない事を陳腐とするのは地方教育者の不見識によるのでこれが不振の大なる原因である、今日續々發見せらるゝ處の學說に従つてこれを實際に行つて見てもそれが短い時日であつてはその効果を見ん事は不可能であるし又かれらは何でも進んで取らなければならぬと考へて少時間にその新しい説をよむけれども充分にかみわけける事が出来ないのも又一の原因である、

すべて地方の教育者は都會に離れて居ても文字の上では離れる事がなく都の生活に向つてあこがれるのは自然の結果であるかく中央の人の研究の結果を取つて従ふのである

このやうな教育者によりて教育された結果はどんなであるかといふにかれらはよるべき所のない有様で容易ならぬ悪結果を兒童教育の上に来すのである即少しも成案の事がなく水草を追つて昨日は甲今日は乙といふ風に新聞や雜誌にかゝげられた學說に従ふのであるから教育上に悪影響を及ぼすのである

そういへば新聞雜誌は害のみ興へる様ではあるが又これは地方を開くの到大なる力をもつものであつて若しこれがないれば地方は暗黒になるかもしれぬけれども一方に於ては害のあることも明である故に東京に生活する人は其言行ともに注意して地方人をあやまらぬ様にしなければならぬそれで地方の教育研究會同窓會などには大がいに東京の知名の士を招きて話を聞くのを例とするそしてその先生の話の總て價値あるものとして彼等はとり入れるのである其結果として往々先生を絶對に信仰して自己の行爲までを律する様になる事はよく見る所である例へば今個人主義が主張され、其一年位は其説によりて支配されるのである此様に東京の先生の言行は勢力をおよぼすものである故に總べて中央の教育者學者實驗家は慎重の態度を取つてもらひたい然うされば或は地方教育の不振の原因は取り去られるかも知れないおそれ多いことだが十月十三日の詔勅は極端まで地方人には影響をおよぼして居る學生が牛乳を飲むのも瀛車通學するのもしけないといふ様になつて居る地

方かたの人は一度かゝる御旨ごしめを仰おほげば自己じこの考かんがへすて極端ごくたんな處ところまで實行じやうぎをついけるのであるまた昔むかして高崎正風男たかさきせいふうだんなが一徳會いちとくかいを起おこして勸語くわんごを地方ちほうに遊説ゆうせつされた時は夏なつのことではあり七十歳しちじゅうさいの高齡こうれいを以もつて地方ちほうでこられたのは多おほとせねばならぬが其時そのときに其地方そのちほうの新聞しんぶんにこういふことが出でて居ゐつた「高崎正風男たかさきせいふうだんなに與あふるの書しよ」といふ題だいで

男おとこが遠とほく地方ちほうまで來きられしは感謝かんしゃにたへぬ所ところなるがそれよりも中央殊ちゆうおうじゆに上流じやうりゆうの教育かういくを重おもんぜられたし地方人ちほうじんの鏡かがみとなるべき東京人とうきやうじんが詔勅しよとくの御趣旨ごしゆいを奉戴ほうたいされたならば地方ちほうに及およばすことはたやすいのであるふ」といふのであつた、

これは或あるは失禮しつれいならんが一面いめんの眞理しんりはあると思おもふ教育かういくの學說がくせつばかりでなく中央人ちゆうおうじんが風教ふうかう上の事ことも注意ちゆういしたならば地方ちほうでは教育かういくに従事じゆんじするものが遊あそび仕事しごとでなく思おもて居ゐるのであるから教育かういく効果かうくわもかすから表あらわはれるであらふと思おもふ今日けふの世よの中なかは政事せいじ經濟けいぎ教育かういく何なんれも混亂こんらん時代じだいであるから非常ひじょうな決心けつしんが必要ひつやうである或人あるひとが日光にっこうの大谷川おほやひのたにがはに洪水こうすいのあつた時に川がはの中央ちゆうちゆうにあつ

た石いしの爲ために濁流だくりゆうが兩分りやうぶんされたのを見みて教育者かういくしやなるものは此新このあらたしい學說がくせつの百出ひやくしゅつする時代じだいにたつて大谷川おほやひのたにがはの石いしの如ごとく堅かたい精神しんげんを以もつてその中なかを切り開ひらいてゆかなければならないといつて居ゐるが如何いかんせんかれらにはその濁流だくりゆうを兩分りやうぶんする見識けんしきがないのである希こぼくばその兩分りやうぶんさせる前にその源泉げんせんたる都會たいわいを清きよくしてもらひたいものである

● アフベトーヴエン風俗

▲ベトーヴエンの男子なんし 荒夫あらいの次に紹介せうかいすべきはベトーヴエンの男子なんしなるが、色更いろさらに黒くろく素足すそあし多おほしといふの外ほか、服装ふくそうも容貌らうぼうも、大おほに荒夫あらいと異なる所ところなし、余あまは佛蘭西ふらんせいアグエニエにて、四名ななむのベトーヴエンを見たりしが、他ほかは皆椅子いすに凭たよるにも拘こらず、彼等かれらのみは地上ちじやうに踞坐じよざして談話だんわしつゝありき、天壽生活てんじゆせいかつの習慣じゆかんは、彼等かれらをなして椅子いすに依よるよりも、直接じやくせつ天地てんちを以もつて衾枕きんしんと爲なすの快たのしみを感じかんぜしむ▲子こを背負せおふの習慣じゆかん ベトーヴエンは同じく回教徒かいけうだうなるも其婦人そのにんは一切いっせつ覆おほ面めんせず、蓋かきし飄泊ひょうぱく的生活せいかつと覆面おほめんとは兩立りやうたつせざるが爲ためめならん歟や、ベトーヴエンの婦人にんは米國べいこくの赤印度人せきいन्द人の如ごとく、其小兒そのせうにを背負せおふ、余あまのケアロンにて之を見たりときは、日本にっぽんに歸りたるやうに感じたり